

平成 25 年 11 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 精工技研
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利
 (コード番号 6834)
 問合せ先 管理部長 斎藤祐司
 (TEL. 047 - 388 - 6401)

第 2 四半期連結業績予想との差異 及び
 個別決算における前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 10 日に公表した平成 26 年 3 月期の第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の連結業績予想と、本日公表の同期実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算における当事業年度の実績値が、前事業年度の実績値から一定以上変動しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,180	0	30	△100	△10.94
実績(B)	4,467	91	104	△25	△2.78
増減額(B)－(A)	287	91	74	75	—
増減率(%)	6.9	—	246.7	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	2,416	△18	5	△54	△5.99

2. 個別決算における前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前事業年度実績(A)	1,610	△256	△136	△156	△17.13
当事業年度実績(B)	1,790	△238	△48	△60	△6.57
増減額(B)－(A)	179	18	88	96	—
増減率(%)	11.1	—	—	—	—

3. 差異が生じた理由

(1) 連結

売上高につきましては、流通する情報データの増大を背景に、光通信関連製品の販売が中国や欧州地域で好調に推移し、前回発表予想を上回ることとなりました。売上高の増加を受けて営業利益、経常利益、四半期純損益はいずれも前回発表予想を上回ることとなりました。

(2) 個別

売上高につきましては、光通信関連製品の販売がアジア地域や欧州子会社向けに増加しました。損益面では、前事業年度に営業外費用に計上していた為替差損が解消し、当事業年度は為替差益を営業外収益に計上したため、経常損益、四半期純損益が前事業年度から改善することとなりました。

なお、平成 26 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、高耐熱レンズの先行きが不透明であることから、平成 25 年 5 月 10 日に公表した業績予想を変更しておりません。

以 上